

東京春祭を楽しむ(23)

—ライブ配信(23)—

1. 始めに

[Web 情報紹介【2022No.40】](#)で紹介した東京春祭 22 の4月度プログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、東京春祭のミュージアム・コンサート「スコットランド国立美術館 THE GREATS 美の巨匠たち」展プレコンサート vol.1 を視聴しました。



2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→BACU-2000→TruPhase→BACU-2000→300B

プログラムは次のとおりです。

ミュージアム・コンサート

「スコットランド国立美術館 THE GREATS 美の巨匠たち」展プレコンサート

vol.1

松岡莉子（ケルティックハープ） & 中藤有花（フィドル）

日時・会場

2022/4/6 [水] 14:00 開演 [13:30 配信開始]

東京都美術館 講堂

出演

ケルティックハープ：松岡莉子

フィドル：中藤有花

曲目

スコットランド伝統曲：広い河の岸辺

- F.マクドナルド：ジグ《ラン・リグ》
G.ダンカン：ラムニー・ケイリィ
スコットランド伝統曲：お気に入りの夢
B.リング：リスナグン・ジグ
スコットランド伝統曲：
スコットランドの釣鐘草
アラン・ボートソング
帆を広げた船
J.S.スキナー：子守歌
スコットランド伝統曲：
今すぐ結婚して
グレンリベット
J.S.スキナー：
ヘクター・ザ・ヒーロー
ファイフ公爵のディーサイドへの歓迎
左ききのヴァイオリン弾き
スコットランド伝統曲：
美しいドゥーン川の岸辺
銀の槍
マッカーサー・ロード



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

ケルティックハープという小型のハープとフィドルというヴァイオリンに似た楽器の演奏です。曲の説明や楽器の紹介も交えて演奏がありました。ケルティックハープはアイリッシュハープとも言われ、グランドハープとは大きさも違い、半音階の調整はペダルではなく、レバーで行います。フィドルは基本的にはヴァイオリンと

同じですが、音楽の分野が庶民的なもので、奏法としてはヴィブラートなしで演奏されています。

広い河の岸辺の原名は **Water is Wide** という曲名でよく知られています。伝統曲では、ケルト系の舞踊曲もあります。

スコットランドの釣鐘草はコンサルティーナというアコーディオンに似た楽器で演奏されましたが、日本の唱歌になっているもので、子守歌もよく聴くものです。

大別すると、足踏みの入った中性的なケルト色の強い音楽と日本の唱歌になっているような哀愁の帯びたペンタトーンの親しみやすい音楽であったように思います。



4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができました。

以上